

◆ 国道18号

TAKADA KAWAKOKU

Route 18

上新バイパス



至長野方面

至直江津

岡原交差点から起点側を望む

TAKADA KAWAKOKU



ROUTE 18 joshin bypass

事業の目的

国道18号は、上越市と高崎市とを結ぶ本州横断幹線であり、かつては「北国街道」として親しまれ、上越地方においては縦断幹線である国道8号と共に、産業・経済の動脈として重要な役割を果たしています。

近年、朝と夕方を中心に混雑が発生しているほか、走行速度低下に起因した死傷事故も発生しています。

また、この地域は全国でも有数の豪雪地帯として知られており、従来の国道（現県道上越・脇野田・新井線等）は幅員がせまくしかも沿道市街地には家屋が密集しているため、冬期間の除雪作業が非常に困難で、しばしば交通止めという事態が発生していました。

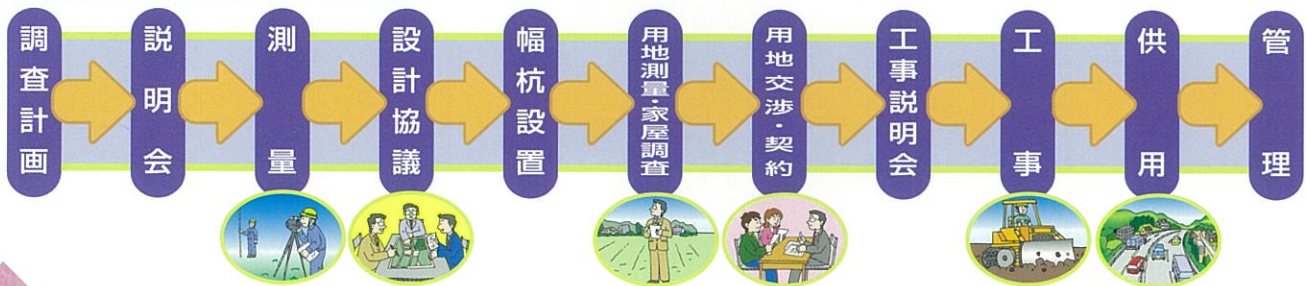
上新バイパスはこれらの交通のあい路を開閉し、上越地域の道路網における基幹的な役割を果たすと共に、通過交通を適切に処理し、上越地域全体の発展に寄与するため、計画されたものです。

事業の経緯

	11工区	10工区	9工区	8工区	7工区														
	下 源 入	三 田	富 岡	寺 ヶ 所	鴨 島	今 池	岡 原	寺 町	乙 吉	志	藤 沢	市 屋							
計画調査	S.46~S.47																		
実施調査	S.48~S.49																		
ルート発表	S.49.4.19					S.50.4.23													
都市計画決定年月日	S.50.10.24					S.52.11.4			S.57.6.25		S.58.12.9								
用地着手	S.57	S.54	S.51	S.52	S.53	S.52	S.53	S.53	S.54	S.55	S.51	S.53	S.53	S.59	S.60	S.59	S.61	S.62	
工事着工	S.58	S.56	S.55	S.53	S.54	S.53	S.57	S.56	S.54	S.55	S.56	S.53	S.54	S.61	S.62	S.63	S.63	S.63	
道路区域決定年月日	S.58.10.28	S.55.1.17	S.52.11.9	S.53.12.7				S.52.11.9			S.62.7.13								
2車供用	S.58.10.28			L=7.0km		S.57.11.2		L=4.3km	S.61.10.24		L=1.7km	S.62.9.28		L=3.8km	H.元.11.1		L=3.9km	H.3.7.30	L=2.2km
4車供用	S.60.10.30	L=1.9km		H.11.12.22	L=2.2km		H.17.12.26	L=2.8km		H.21.12.25	L=1.2km		H.25.12.25	L=1.7km		S.63.10.13			L=0.6km
交差点立体化	H.13		S.58	H.2	S.63	H.9	H.6			S.61	H.3								

道路のできるまで

調査から工事、管理までの順序



計画の概要

1.路線名	国道18号(上新バイパス)	
2.起点・終点	新潟県上越市中郷区市屋～新潟県上越市大字下源入	
3.延長	L=24.6km	
4.構造規格	第3種第1級	
	○設計速度 V=80km/h	○最小曲線半径 R=800m
	○最大片勾配 4%	○最急縦断勾配 i=4%
	○車線数 4車線	
5.標準幅員	上越市：21.0m 【2.0+7.0+3.0+7.0+2.0】 側道：6.5m 【4.5+2.0】	
	妙高市・上越市中郷区：28.0m 【3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5】	
	橋梁部(L=100m以上)：24.5m 【2.5+1.25+7.0+3.0+7.0+1.25+2.5】	

事業の効果

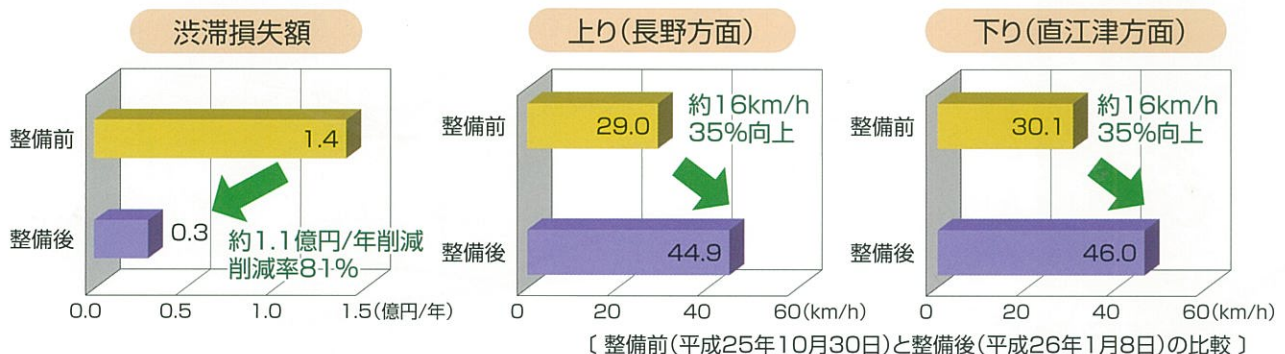
- 1.北陸自動車道、国道8号、292号、350号及び405号並びに他主要地方道、県道、市道等と有機的に接続し、上越地域の道路交通における基幹的な役割を果たしています。
- 2.長距離の大型通過交通がバイパスを利用することになるので、上越市及び妙高市の従来の国道（現県道上越・脇野田・新井線等）での交通混雑が大幅に緩和されました。
- 3.バイパスの利用によって、通行の所要時間及び燃費が大幅に節減され、かつ安全、快適な走行ができるようになると共に従来の国道は、その地域内を移動する交通のみとなるため、主として生活道路として使われるようになり、市街地環境は良好になりました。
- 4.新幹線駅までのアクセス道路として大きな役割を担い、バイパスの通過する地域周辺の土地利用を含め新たな拠点となることが期待されます。
- 5.交通の円滑化により、通行車両から排出されるCO2が削減され、地球環境の改善にも寄与します。

上新バイパス 岡原交差点～今池交差点間4車線化の整備効果

国道18号上新バイパス(L=24.6km)の内、岡原交差点から今池交差点の1.7kmが平成25年12月に4車線で開通しました。4車線化で交通機能が向上することによって、渋滞損失削減効果は年間で約1.1億円削減と算定されます。

岡原交差点～今池交差点間の旅行速度の向上(朝ピーク平均)

4車線化により朝ピーク時間帯で、旅行速度が約16km/h向上しました。整備により、ピーク時でも40km/hを越える安定した走行環境が実現しています。



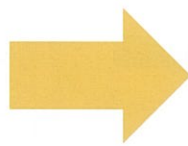
交通混雑の緩和

4車線化により、岡原交差点の下り線で混雑延長*が約800m緩和されました。

*車両の交通が滞り走行速度が時速20km/h以下となった状態



岡原交差点の混雑状況
(下り線 平成25年9月18日)



岡原交差点の状況
(下り線 平成26年1月8日)

事業の特徴

- 1.冬期における交通の確保を容易にするため、路肩に除雪余裕幅を設けています。
- 2.安全で円滑な交通処理ができるように、主要な交差道路は立体交差としています。
- 3.農耕作業や自転車、歩行者の安全を図るため、上越市では側道を、また、妙高市・上越市中郷区では、自転車、歩行者道を設置しています。
- 4.当面2車線で暫定供用を開始していますが、将来の交通量の増加に伴い、主要交差点の立体化と4車線化を進めています。